
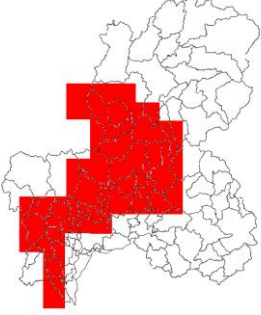


セツブンソウ	<i>Eranthis pinnatifida</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:準絶滅危惧種)		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(大塚英樹)
形態の特徴	球状の塊茎から根生葉と花茎を出す多年草。根生葉は五角状円形で、裂片は羽状に欠刻する。花茎は高さ5-15cmで、線状の数片に欠刻した2枚の茎葉をつけ、先に径約2cmの白色花を1個つける。花期は2月頃。	
生態的特徴	丘陵帯上部～山地帯下部の落葉広葉樹二次林の林床に生える。石灰岩地を好む。	
分布状況	日本固有の種。本州(関東地方以西)に分布する。県内では県南の中部・西部及び県北の南西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南及び県北の一部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良